

NPO 法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
ナルク (NALC) 宝塚・川西・伊丹・猪名川

《ささえあい》

5 月号

事務所 〒666-0015 川西市小花 2 丁目 25-1

TEL・FAX 072-759-3269

メール nalc.sasaeai@gmail.com

HP [ナルク宝塚・川西] 検索



会員数 4 月 30 日現在

146 世帯・会 員 207 名・賛助会員 13 名

第 26 回定時総会のご案内

事務局

今年の総会は下記内容で開催予定ですが、新型コロナウイルスの第 7 波も予想されますので中止することもあります。なお、中止の場合には昨年と同様に書面表決となりますのでよろしくお願いいたします。

*日 時：6 月 19 日 (日) 11:00~15:00

*場 所：宝塚東公民館 2 階 大ホール

*プログラム

11:00~12:00 総 会：式次第に基づく

12:00~12:50 会 食：弁当配付

13:00~14:00 講 話：在宅介護・介助など (宝塚ちどりさん)

14:10~15:00 アトラクション：5 月の運営委員会で評議

【運営委員募集】

事務局

現在、運営委員は 17 人ですが、会員の皆さんの声を反映し、より円滑に運営するためには、会員数から判断しますと 20 人が適当と考えています。それにはあと、3~4 人が必要です。

拠点の活性化のために、意欲のある会員の自薦、他薦を心よりお待ちしております。皆様ご理解の上ご協力をお願いいたします。

拠点活性化のためにやってやろうと言う方がおられましたら、厚東代表または、現在の運営委員の方にお申し出ください。

【種子島町子さんを偲んで】

享年 94 歳

金杉マチ子 (川西)

種子島町子さんの訃報に接し心よりお悔やみ申し上げます。

種子島さんとは麻雀で一緒させていただきました。私は牌に触ったこともない状態で仲間に入れていただきました。当時種子島さんは麻雀同好会の古いメンバーでゲームをしている姿がカッコよくあこがれの存在でした。

麻雀同好会は月三回事務所で、10 時半から 4 時まで行い、中でも 90 歳近い種子島さんは毎回出席、お昼はご自分で作られたお弁当を持参し、たくさん作ったからとおかずのおすそわけをされることもたびたびでした。

ゲームが始まりますと静かに黙々とゲームに集中され、いつの間にかリーチ、ロンとあがり満貫なんてこともよくありました。失礼ながら、このお歳でこの集中力はどこに隠されているのかいつも驚かされました。種子島さんは、「麻雀を続けられるのは皆さんのおかげです」といつも感謝の言葉を口にされていましたが、私こそよいお手本があることに感謝し、これからも長く麻雀を続けることが出来ればこれほど幸せなことはありません。同名の (字は違いますが) 町子さんにあやかりたいと願っているところです。

麻雀同好会をまとめ、入会当初からご指導いただいた村林隆さん、種子島町子さんお二方のご冥福をお祈り申し上げます。 合掌



「事務局より」……種子島さんの亡きご主人様は、永年ナルク本部で事務局長としてご活躍頂き、奥様の町子さんも事務所当番はもとより、会報の発送・仕分け作業や会報手配り、あちこちの家事支援等大変貢献いただき、時間預託ポイントも 631 点保有しておられました。若い人の面倒見も良く多くの会員さんから慕われていました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

【宝塚大橋「愛の手の裸婦像」の是非を問う】 賛助会員（宝塚市議）大島淡紅子

私が住む宝塚市の南部平野部は町の真ん中に流れる「武庫川」の扇状地です。

武庫川は古来、その景観を活かし温泉地として栄え、また灌漑用水が無数に引かれ農業に豊かな恵みをもたらしてくれた反面、「暴れ川」と呼ばれ氾濫を繰り返したため、その治水工事に多くの朝鮮半島や沖縄の人々が従事しました。

という訳で、市内には無数の橋があるのですが、特に、阪急線の南北に架かる二つの橋は中心市街地の顔です。新旧温泉街を結んだ「宝来橋」の別名は「S 字橋」。両岸の高低差を緩和するため、S 字カーブしたものです。また「花のみち」に続く「宝塚大橋」は、花壇と噴水と四阿（あずまや）や彫刻を配したガーデンブリッジ（橋上公園）として、双方とも全国では大変珍しい橋です。



今、多くの市民の耳目を集めているのが、昨年大規模改修工事のため撤去した宝塚大橋の全ての上部構造物とレンガ敷をどうするのかです。

実はこの橋、40 年以上前にすでに全国から注目を浴びました。それは寄贈された一对の「愛の手の裸婦像」に、市民団体が設置反対運動を行ったのです。この像のテーマは、「…男性の手のひらに女性が大空に向かって、人類に愛の手をさしのべている姿で、愛と平和を象徴するもの」と市広報紙に載り、これを看過できない、女性を中心とした市民が 2 年以上抗議活動や学習会を開催しました。

そして今回、当時の市長は市民運動を無視しましたが、現在の山崎市長は「市民に OPEN」を謳い、ジェンダー問題を得意とする弁護士ですから、景観審議会に諮り、広くアンケート調査もして、橋の設置の結果を出すようです。

そこには、当時無かった「パブリックアート」の観点も必要です。つまり、男女を問わず「裸体像」を衆目に晒される公共の場所に設置することは、世界的にはダメ！手が届く所があれば触られ撮影され「セクハラ」被害にも遭う—また女性の裸体像が、テーマの「愛」や「平和」とどう結びつくのか？

いずれにせよ、誰もが快く渡れる橋を望みます。

【3 月の入会者】

事務局

※ ありませんでした。

【今後の行事予定】

事務局

| | | | |
|--------------|-----------------------|-------------------|--------|
| 5 月 20 日 (金) | ナルクゴルフ (4 組) | 8 : 00 ~ | 能勢 CC |
| 6 月 19 日 (日) | 第 26 回定時総会と講話・アトラクション | 11 : 00 ~ 15 : 00 | 宝塚東公民館 |

【時間預託活動と点数】

事務局

| | 仕事 援助 | 家事 援助 | 受託 事業 | 送迎 | 事務所 当番等 | コーディ ネート | 講師 | 活動 合計 | 活動 会員数 |
|-----|----------|----------|----------|----|------------|-------------|----|----------|-----------|
| 4 月 | 21 | 24 | 28 | 3 | 54 | 2 | 4 | 136 | 18 |

【4 月度の運営委員会】(Zoom 併用で開催)

事務局

「3 月活動報告」

- ・ 仕事援助 (庭仕事: 大野) 利用者: O・T さん
提供者: 大野さん
- ・ 家事援助 利用者: T さん
提供者: 田川・小幡さんのお二人
- ・ 介助・送迎(大野) 利用者: A・T・Y・K の皆さん
提供者: 田川・渡辺・小幡・大野・小倉智子の皆さん
- ・ 受託事業: 宝塚ちどり (平塚) : コロナ禍で休み
うぐいすの森 (厚東) : 小幡・厚東・厚東恵美子・冨田・柳田の皆さん

「議題」

- 1) 今期の活動方針 (厚東) ……4 月会報に記載済み
- 2) 次期運営委員候補者について……自薦他薦を問わず名前を挙げる (記事別掲)
- 3) 総会について (厚東) ……6 月 19 日 (日) 宝塚東公民館 開催可否の見極めをしながら決める
午前中総会、午後講話 (宝塚ちどりさんに在宅介護などをテーマでお願いする)・アトラクション
- 4) ナルクデーについて (米田・厚東) ……当拠点のらくごクラブと兼ねる (詳細 4 月会報に掲載)
小雨決行。来年度以降は他拠点の会報で活動を確認して参考にする。
- 5) 川西市市民活動センターのフェスタの話し合いに出席 (中田) ……6 月 20 日～7 月 8 日まで

【拠点エリア内の名所史跡のご案内】

「宝塚」

井上堅也 (宝塚)

「宝塚市内では数少ない城跡：小浜城」をご紹介します

宝塚市の観光案内では、「小浜は、15 世紀末にごうしょうじ毫 撰 寺の寺内町として誕生し、江戸時代には有馬街道、西宮街道、京伏見街道が集まる宿場町として栄えました。今でも虫籠風の二階窓の民家などに当時の雰囲気をとどめ、馬の乗り継ぎ所であった馬借、宿屋の跡をたどることができる。」と紹介されており、宿場町になる以前の「小浜城」としての歴史がほとんど語られていない。

小浜城は、本願寺の僧善秀が明応年間 (1492～1501) に建立した毫撰寺を中心とした寺内町です。軍事拠点として利用されたことはほとんどないようですが、小浜集落の立地条件やその極めて高い防御性は城跡と呼ぶにたるものもっています。この地が戦乱に巻き込まれたのは、天正六年 (1578) の有岡城の戦いの時で、この荒木村重の反乱により付近の集落が焼かれた。同八年に有岡城が落城した後は、小浜の地は池田信輝 (恒興)、元助・輝政父子が領有し、同十一年に池田氏が美濃に移封されると、尼崎城の三次秀次 (のちの豊臣秀次) が領有し、その後は秀吉の蔵入地になったとされている。その後、江戸時代になってからは宿場町として栄えてゆくことになった。

城跡はというと北門、南門、東門が檜台らしき高まりとともに残っており、西から南にかけては外周を大堀川がめぐらされています。また土塁や切岸を施し城郭都市としての様相をそのままに今に伝えています。



小浜城の中核となる毫撰寺



檜台のように残る東門跡



大堀川が深い堀となる北門後

見聞記の 4 回目はみなさんのお金つまり「会計」のはなしです。

3 月号の会報で会計の大野晏稔さんが「私からのお願い」として、会計役を引き受けた事情や少々の会計内容の説明をされています。合わせて来年 4 月には現在使用中の車を廃車するので、今までのように仕事援助活動や会計処理事務のために頻繁にナルク事務所に行くことが困難になります。つきましては援助活動とともに会計業務のお手伝いいただける方をお待ちいたしておりますという切実なお願いがありました。

皆さんのお金として知っておいて欲しいなあ！と思うことを列記してみました。

1. 年会費の半分は本部運営費に残り半分は拠点の活動費として使用されています。もちろん本部も拠点も労力はすべてボランティアです。
1. 賛助会員様からの会費は全額拠点の活動費とされています。
1. 拠点の事務や会計処理は本部の基本方針に基づいてパソコンで中田年平事務局次長と北川京子補佐役により、しっかりと処理し管理されています。
1. 会計上での現況不安は大野さんの実状と収支が少々の赤字になりつつあることです。そんななかで拠点としての正味財産が約 273 万円あることと、みなさんからの寄付金が大きな赤字になることを救ってくれているうれしい実状もあります。「できる時にできる事を」人のためではなく自分のために……。それがボランティアなのかも知れません。

文芸コーナー

【学を為すの要】

吉田松陰 一日一言



【訳】

「学問に志す者が師を求める、ということでは、師を求める前に、まず実心、心から師につきたいという真摯な心が定まり、また、事実、つまり、このことを学びたいという具体的なことを確立させて、それから初めて師のもとを訪ね、師とすることを求めるべきである。学問のポイントはこのにある。思うことがあるが、まだ、自分の中で明確にならず、また、すべきことがあっても、まだなし遂げることができないという状態になって、初めて憤然として学問に志し、そして、師を求めるということであれば、実事があるというべきである」

【言葉の由来】

『牛蒡抜き』

駅伝や競馬でファンにおなじみの言葉ですが、後方から一気に抜いて一着になったりすることをいいます。日常でも、物を強引に引き抜く場合に使います。これは、他の野菜に比べて、牛蒡は、細く真つすぐに伸びているので、容易に抜くことが出来ることから言われた言葉です。

【俳句】

『眼前を黄蝶もやもやよぎりたる』

杉木妙子

【短歌】

『夕焼けは海とひろがり戦争もコロナも浄化の渦とならんか』松野綾子

【編集後記】

高齢者にとっては一年を通じて最も過ごしよい時節です。一方、世の中はコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻で世界中が暗い中、野球界ではロッテの若干 20 歳の佐々木選手の 28 年振りの完全試合達成。我々高齢者も負けないで絶好のシーズンを元気でナルク活動に頑張りましょう。（平塚記）